

## 第3章

# 父親のワークライフバランス

持田 聖子



## 第1節

## ワークライフバランスの4都市比較

## ◆父親・母親の職業◆

まず、本調査の回答者の職業について、確認しておきたい。父親は各都市とも8割以上が「正社員」（北京・上海は「正式職員」）である。母親（妻）の仕事は、北京・上海は「正式職員」が7～8割と属性の中でもっとも多く、「無職」は北京10.5%、上海5.7%と少ない。東京・ソウルの母親（妻）は「無職」が多く、東京は62.9%、ソウルは52.6%である（p.90 基本属性を参照）。

本調査の回答者で、夫婦がともに仕事を持っている比率は、上海94.1%、北京89.3%、ソウル46.6%、東京36.6%となっている（図3-1-1）。

## ◆平日の帰宅時間は、東京の父親がもっとも遅く帰る比率が高い◆

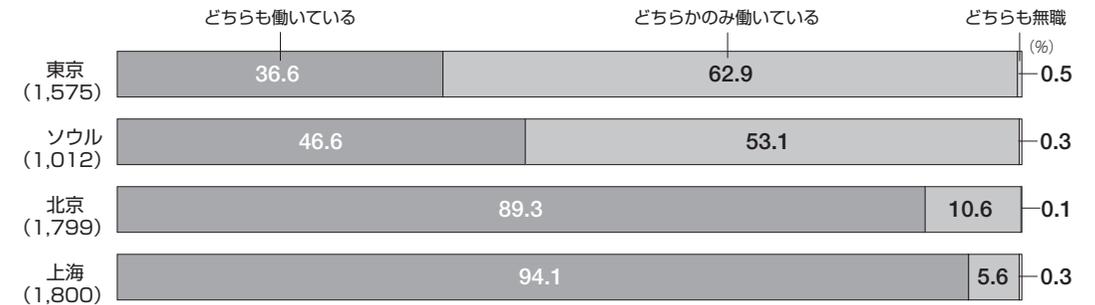
各都市の父親は何時ごろ仕事から帰宅することが多いのかをきいた（図3-1-2）。東京の父親は「20時台」の帰宅がもっとも多く、全体の21.9%であった。ソウルは「19時台」（28.7%）、北京・上海は「17時台」（北京36.7%、上海38.0%）がもっとも多い。北京・上海の父親の帰宅時間は「17時台」「18時台」に集中しており、全体の約7割がこの時間帯に帰宅している。

帰宅時間がもっとも遅い傾向にあるのは東京の父親で、子どもがそろそろ就寝する21時台\*1以降に帰宅する比率は合計39.7%と約4割に達する（次いで多いのはソウルで29.0%、北京・上海は3%以下）。第1章で述べたように、東京の父親は平日、子どもと一緒に過ごす時間がもっとも短く、育児や家事への取り組み頻度は全般的に低い傾向にあるが、仕事からの帰宅時間の遅さがその大きな原因となっていると考えられる。

平日、仕事に出かける時間については、どの都市についても「7時台」に出かける比率がもっとも高い。とくに、北京・上海は「7時台」までに仕事に出かける比率が合わせて70～80%にのぼり、東京・ソウルの父親に比べて早い傾向がある（図3-1-3）。片道の通勤時間の平均については、東京46分、ソウル51分、北京44分、上海41分で、大きな差はなかった（図表省略）。よって、おおむね、帰宅時間がもっとも遅い東京の父親がもっとも子どもと一緒に過ごす時間が少ないといえるだろう。

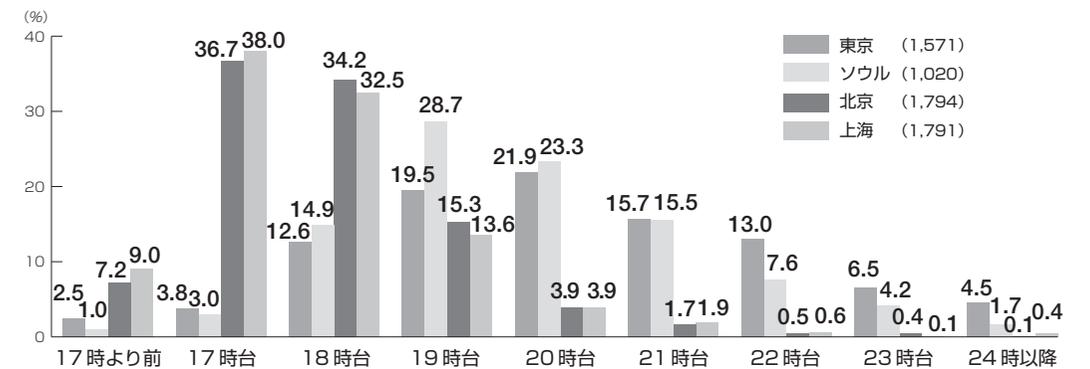
\*1 【幼児の生活アンケート 東アジア5都市調査 2010】（ベネッセ次世代育成研究所 2010）より、3歳から6歳就学前の乳幼児の平日の平均就寝時刻は、東京21時10分、ソウル21時52分、北京21時27分、上海21時15分であった。

図3-1-1 共働きの状況



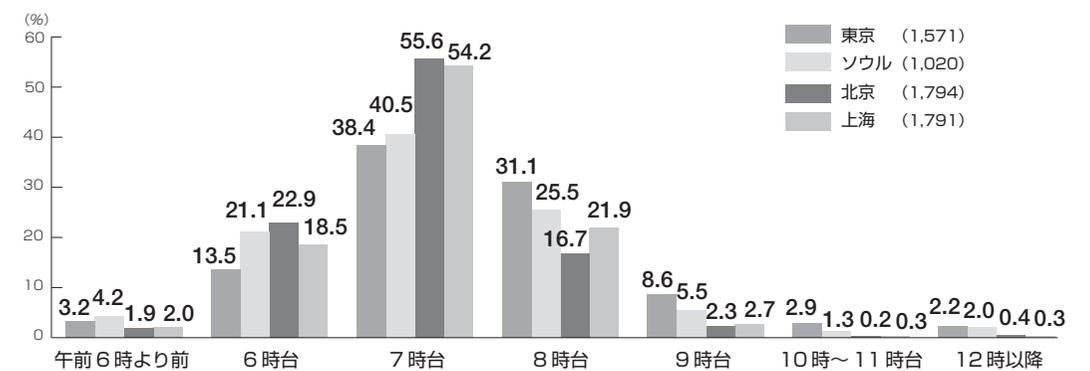
注1) 現在の職業で、父親・母親それぞれ「その他」回答者は集計母数から除外。  
注2) ( ) 内はサンプル数。

図3-1-2 父親の帰宅時間



注1) 現在の職業で「無職」「その他」回答者は集計母数から除外。  
注2) ( ) 内はサンプル数。

図3-1-3 父親の仕事に出かける時間



注1) 現在の職業で「無職」「その他」回答者は集計母数から除外。  
注2) ( ) 内はサンプル数。

### ◆仕事以外の活動は、東京とソウルの父親は、自分のための趣味や勉強、子どもと一緒にの趣味などに熱心に取り組む比率が、北京・上海に比べて低い◆

今回の調査では、父親のワークだけでなく、「ライフ」の実態として、仕事以外の趣味や地域での活動についても把握した（図3-1-4～7）。

趣味や勉強、地域活動などの取り組みについて、「熱心に取り組んでいる」比率で比較すると、どの項目も北京・上海の父親が、東京・ソウルの父親に比べて顕著に高い。東京の父親が熱心に取り組む比率がもっとも高い「自分のための趣味」でも、東京15.0%、ソウル8.8%に対して、北京は41.7%、上海は46.7%と4割を超える。「子どもと一緒にの趣味」は、東京9.8%、ソウル7.1%に対して、北京48.1%、上海51.6%と差はさらに開く。

「自治活動（町内会、管理組合等）や地域の行事、ボランティアなど」については、東京の父親は2.1%、ソウルは3.3%とわずかだが、北京は21.0%、上海は19.1%と約5人に1人は「熱心に取り組んでいる」。「ほどほどに取り組んでいる」も合わせると、北京・上海は70%に達する。

「大学・大学院・専門学校などでの勉強、資格のための勉強など」も東京の父親がもっとも低く5.2%である。ソウルも9.7%と低いが、北京は27.0%、上海は29.5%と、北京・上海の父親の4人に1人以上が、自分自身の勉強にも「熱心に取り組んでいる」。第2章でも述べたが、中国では、学歴や資格が高いほど、職階や収入もあがる社会であることも影響しているのだろう。理想の父親像としても、「物知りだ」が他都市に比べて多く選ばれていたが、豊かな知識を持つことが奨励される社会なのかもしれない。

図3-1-4 自分のための趣味

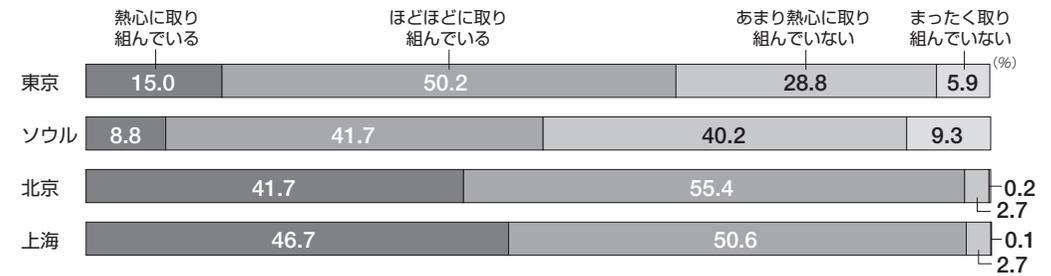


図3-1-5 子どもと一緒にの趣味

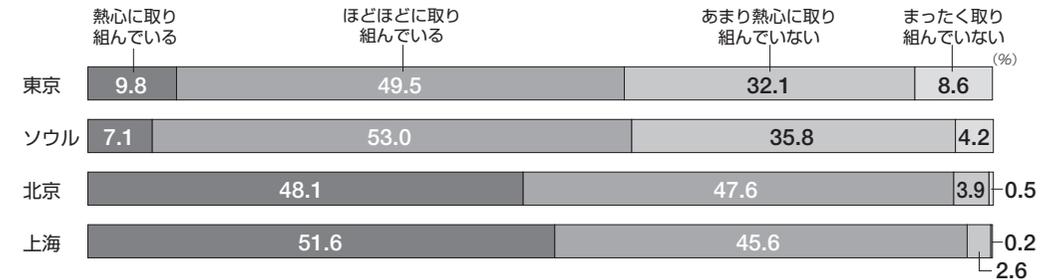


図3-1-6 自治活動（町内会、管理組合等）や地域の行事、ボランティアなど

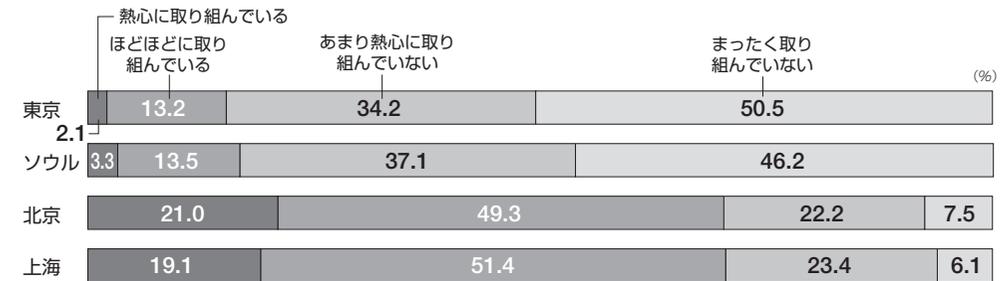
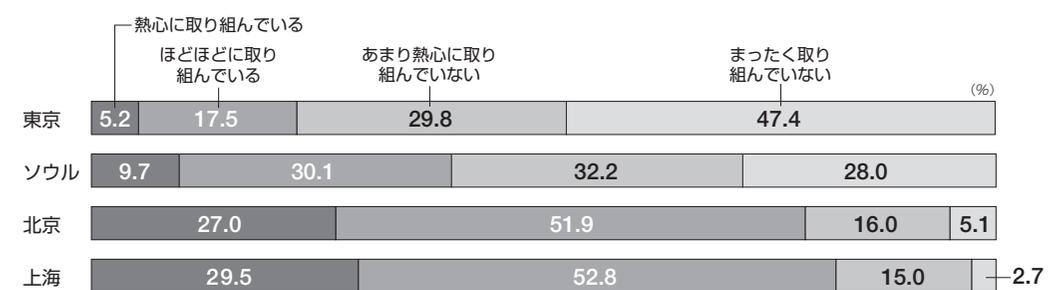


図3-1-7 大学・大学院・専門学校などでの勉強、資格のための勉強など

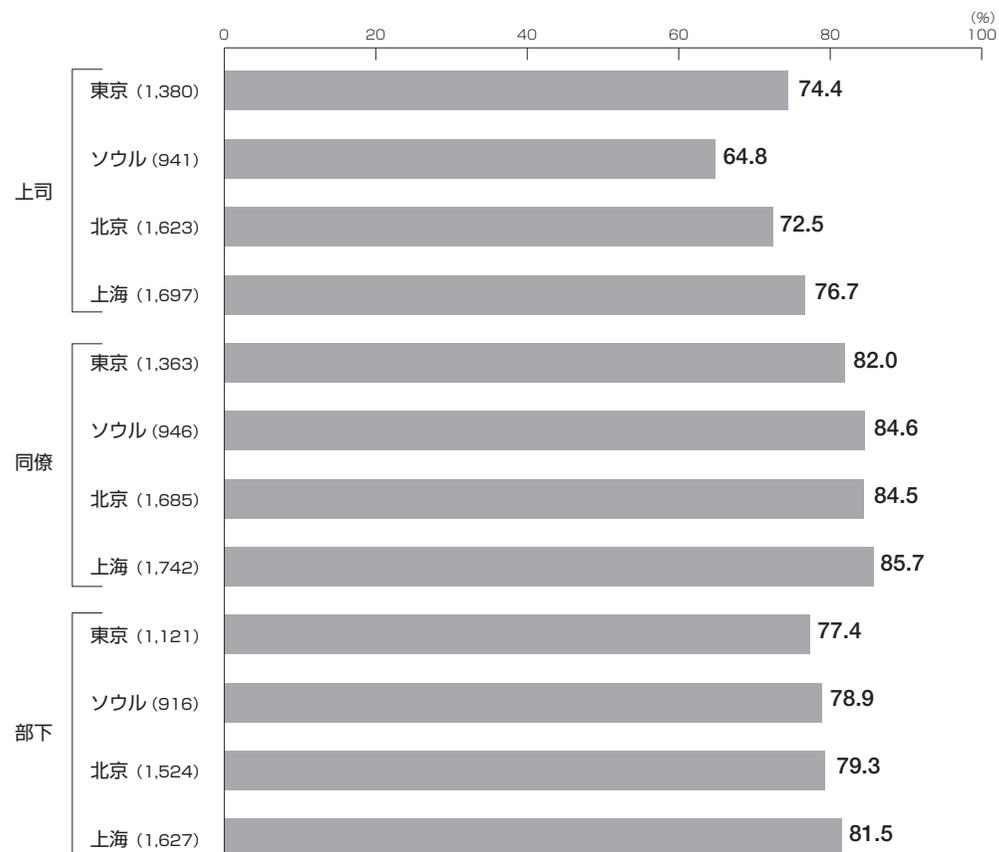


◆子育てに対する職場の理解は、いずれの都市も、上司より同僚や部下のほうに、より理解を得られていると感じている◆

職場において、本調査の父親たちは、自分の上司、同僚、部下に、自分の子育てについて理解を得られていると感じているのだろうか。現在の職業が「無職」「その他」と回答した人や上司、同僚、部下がいないと回答した人を除き、集計すると図3-1-8のような結果となった。

いずれの都市も、おおむね職場で子育てへの理解は得られていると感じているようだが（6～8割が「はい」と回答）、その中でも「同僚」の理解がもっとも得られていると回答している。次いで「部下」であり、「上司」がもっとも理解を得られていると回答した比率が低い。とくに、ソウルは、「上司」の理解が得られていると回答した比率は64.8%と、ほかの都市と比較して10ポイント程度低くなっている（東京74.4%、北京72.5%、上海76.7%）。

図3-1-8 子育てへの理解



注1) 「あなたの上司/同僚/部下は、あなたの子育てに理解がありますか」の設問に対して、「はい」の%。  
 注2) 現在の職業で「無職」「その他」回答者を集計母数から外したうえ、各項目について「上司・同僚・部下がない」人を除き集計。  
 注3) ( ) 内はサンプル数。

◆「現在の生活について」「自分自身の子育てについて」の自己評価は、東京の父親が一番低い◆

現在の生活や、父親自身や妻の子育てについて、総合的な評価を4段階（「とても満足している」から「まったく満足していない」）できいたところ、全体としては図3-1-9～11のような結果となった。

現在の生活全般について、「とても」+「まあ満足している」で比較すると、東京・ソウルの父親に比べて、北京・上海の父親の満足度が高い（東京70.1%、ソウル70.2%、北京86.0%、上海88.8%）。自分自身の子育てについても同様の傾向であった（東京67.0%、ソウル68.9%、北京82.6%、上海84.8%）。自分自身の子育てについて、「とても満足している」と回答した比率で比較すると、東京の父親の自己評価は7.4%と、ほかの3都市に比べて顕著に低かった（ソウル18.0%、北京21.7%、上海21.5%）。妻の子育ての様子については、いずれの都市も自分自身の子育てよりも評価が高く、都市による大きな差はない（東京88.6%、ソウル86.8%、北京92.3%、上海93.1%（「とても」+「まあ満足している」））。どの都市の父親も、妻の子育てについては満足しているといえる。

図3-1-9 現在の生活について

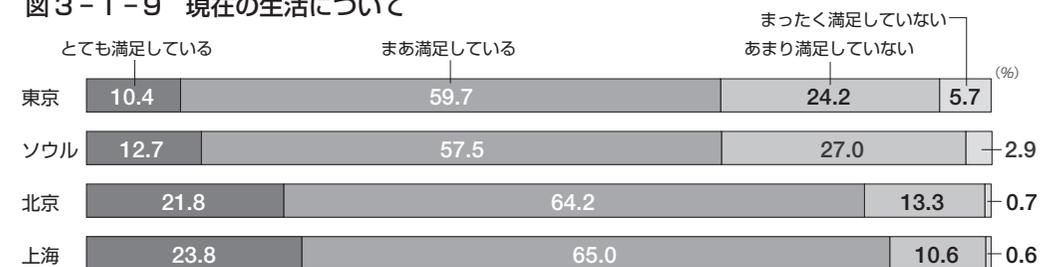


図3-1-10 自分自身の子育てについて

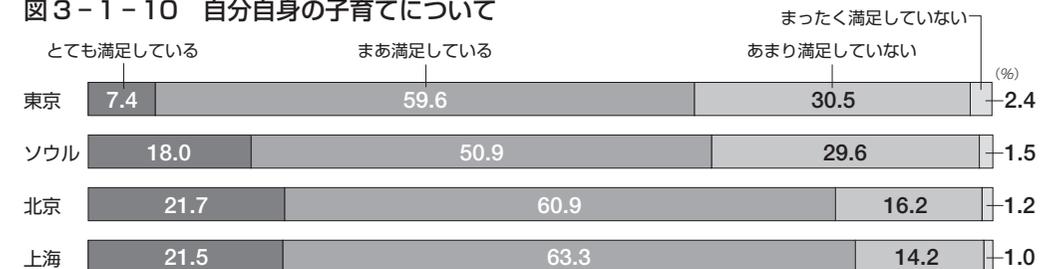
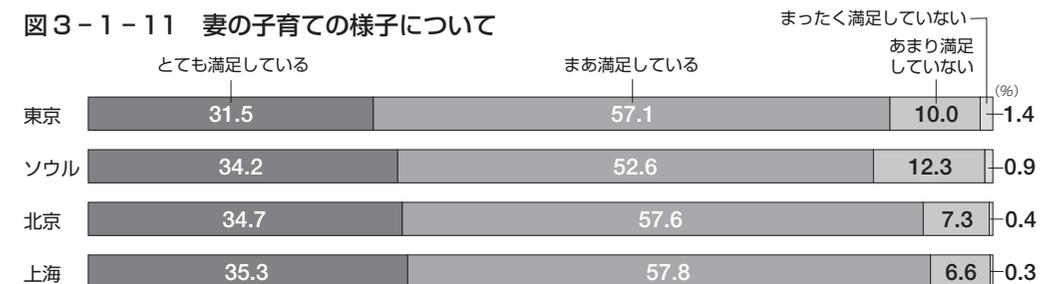


図3-1-11 妻の子育ての様子について



## ◆いずれの都市の父親も、仕事での満足度が高い人のほうが、生活や子育てへの満足度が高い◆

現在の生活と自分自身の子育てへの満足度について、ワーク面での満足度との関係性をみてみたい（図3-1-12～17）。「私の仕事は、職場の中でも日のあたる仕事である」「私は、同期の中では、昇進が早いほうだ」「私は、仕事の中で成長している実感がある」という設問に対して、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した群（そう思う群）と、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した群（そう思わない群）に分け、現在の生活と子育ての満足度をみた。その結果、都市を問わず、仕事での満足感・成長感を感じている群のほうが、満足度が高い結果となった。父親にとって、ワーク面での充実感・成長感と生活全体の満足度、子育てへの満足度は関係があると思われる。

図3-1-12 職場の中でも日のあたる仕事×生活全体満足度

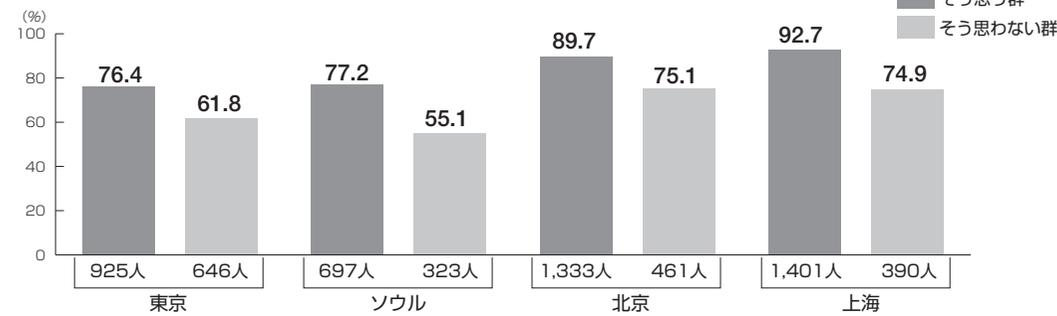


図3-1-13 職場の中でも日のあたる仕事×子育て満足度

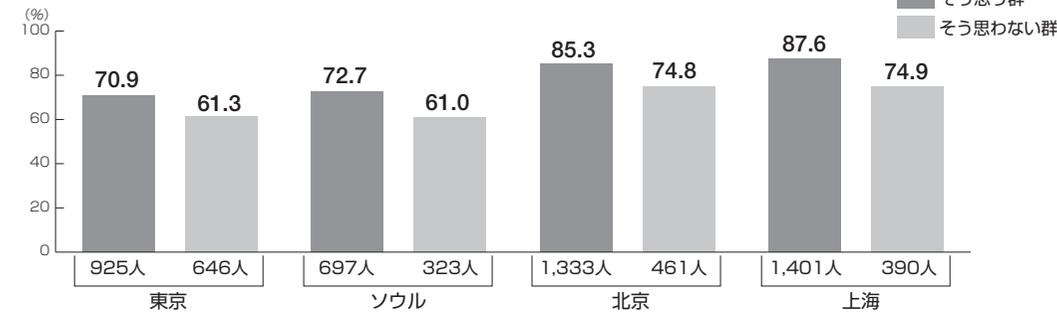


図3-1-14 同期の中では昇進が早いほうだ×生活全体満足度

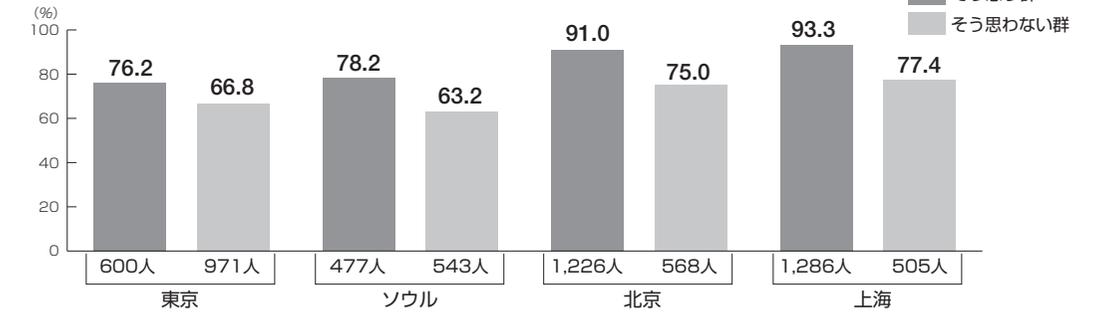


図3-1-15 同期の中では昇進が早いほうだ×子育て満足度

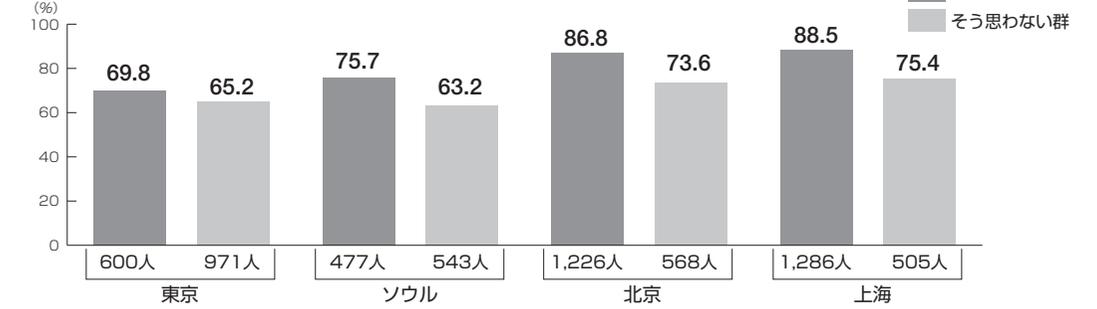


図3-1-16 仕事の中で成長している実感がある×生活全体満足度

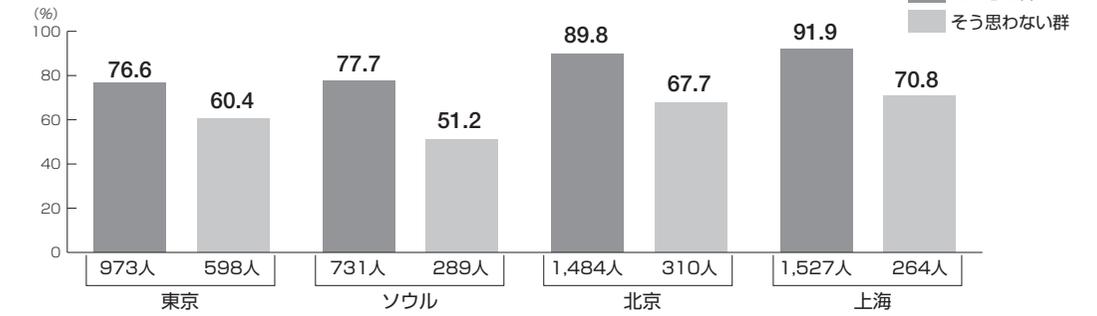
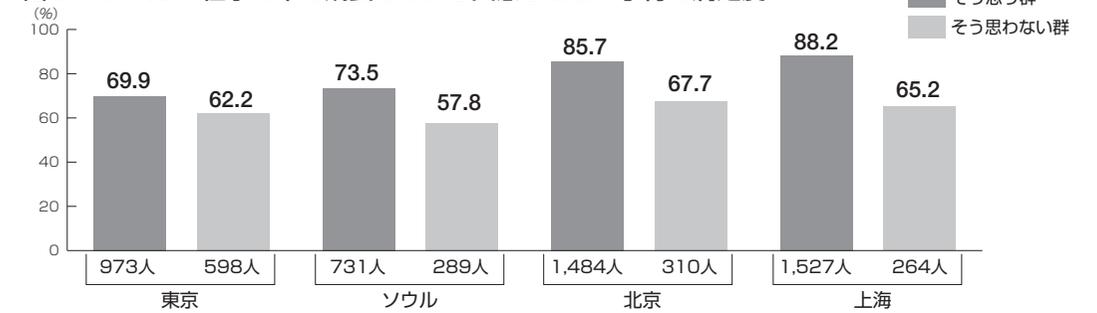


図3-1-17 仕事の中で成長している実感がある×子育て満足度



※図3-1-12～17

注1) 現在の職業で「無職」「その他」回答者は集計母数より除く。

注2) そう思う群＝「私の仕事は、職場の中でも日のあたる仕事である」「私は、同期の中では、昇進が早いほうだ」「私は、仕事の中で成長している実感がある」の各設問について「とてもそう思う」＋「まあそう思う」と回答したグループ。

そう思わない群＝同設問について「あまりそう思わない」＋「まったくそう思わない」と回答したグループ。

注3) 「生活全体満足度」「子育て満足度」について、「とても満足している」＋「まあ満足している」と回答した比率。